

# 乳幼児期における 微量栄養素欠乏 について

2024年

1/26 FRI 10:00 ~ 2/1 THU 17:00

**場所** 人間総合科学大学より  
映像配信 (YouTube)

**講師** 貝原 奈緒子 先生  
人間総合科学大学  
人間科学部 健康栄養学科  
講師

**料金** 無料



「鉄分の不足」という言葉から連想されるのは、どのような対象者でしょうか。「若い女性」でしょうか。それとも、「妊娠中のお母さん」、「成長期のスポーツ少年」でしょうか。上記の対象者も鉄欠乏のリスクが高い傾向にありますが、同じように離乳期の乳幼児も鉄欠乏のリスクが高い傾向にあります。

鉄分は脳など中枢神経の発達に必要な栄養素であり、発育の盛んな乳幼児後期から幼児期は特に鉄欠乏に陥りやすくなります。また、鉄欠乏状態は症状に表れにくく、潜在的な鉄欠乏児も予想されます。そのため“へム鉄を多く含む離乳食を”と「授乳・離乳の支援ガイド」でも言われていますが、さて、何をどれだけ食べれば（食べさせれば）十分な鉄分を摂取する（させる）ことができるのでしょうか。

今回は、離乳期における子どもの鉄欠乏状態について、より保育者に負担の少ない改善策などについてお話していきたいと思えます。

## 申込方法

本学ホームページ応募フォームまたはメールにてお申込みください。

申込期限：2024年1月24日（水）

**応募フォーム** <https://form.human.ac.jp/forms/index.php?id=537>

右のQRコードからも簡単にアクセスできます。

**メールアドレス** [records@human.ac.jp](mailto:records@human.ac.jp)



■主催：人間総合科学大学 ■協賛：日本心身健康科学会・埼玉まなびいプロジェクト ■後援：蓮田市・さいたま市教育委員会・さいたま商工会議所・蓮田市商工会・大学コンソーシアムさいたま



学校法人 早稲田医療学園

# 人間総合科学大学

お問い合わせ

## 048-749-6111

〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288 <https://www.human.ac.jp/> [records@human.ac.jp](mailto:records@human.ac.jp)

■人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科 健康栄養学科 心身健康科学科（通信制） ■保健医療学部 看護学科 リハビリテーション学科（理学療法学専攻・義肢装具学専攻）